

はだののミライラボ2024夏 実施結果について

来場者数

約2,000人

来場者の属性

- 主な来場者：市内（90%）、市外（平塚市、小田原市、伊勢原市等）（8%）
- 交通手段：徒歩（48%）、自動車（22%）、電車（14%）、バス（9%）

実施結果

商店街の既存事業との連携やクイズスタンプラリーにより、水無川沿いの来場者をまちなかに誘導することができた。

また、定期開催に向けて、事業者の機運及び来場者の期待感がともに高まった。

来場者アンケートによる主な感想

- 来場者アンケートでは、来場目的が多様なコンテンツに分散しており、水無川沿い以外にも複数か所の会場を巡ったという回答が目立った。
 - 要望として、日よけ対策の強化や駅前等で案内所を設けて周知すると良いなどの指摘があった。
- また、子供向けコンテンツがより充実すると良い、農協（じばさんず）に行きづらい地域のため農協秦友会の出店はありがたいなどの意見があった。

事業者アンケート等による主な意見

- にぎわいの創出や出店による店の認知度の向上につながるため継続して実施してほしい。
- クイズスタンプラリーでは、参加者と店主の交流につながり、まちのことを知ってもらうきっかけになった。

交通影響

■ 昨年の水無川沿い社会実験時と比較し、15時の今川町から秦野橋に向かう信号待ち自動車数が多かったものの、全体の交通は昨年よりもスムーズであった。

■ 昨年混雑した秦野駅前（水無川右岸）では、信号待ち自動車数の減少が確認でき、規制看板の周知に一定の効果があったと考えられる。

実施日時

令和6年8月25日（日）

午後1時から午後7時まで

※ 交通規制（午前11時から午後8時まで）

※ アンケート回答数 127名



はだののミライラボ2024夏 実施結果について

夏祭り



駅前通り商店街による水の遊び場、屋台、滞留空間

地蔵祭り



花みずき通り商店会による子どもの遊び場、模擬店、滞留空間の創出 等



クイズスタンプラリー
参加者数：約160人



神奈川大学生による秦野の魅力を活かした滞留空間の創出

📌：スタンプ設置箇所

はだののミライラボ2024夏 実施結果について

社会実験の目的

にぎわいのエリア全体への波及（回遊性向上）と、それがまちに与える影響の把握

継続した取組として地域に定着するための課題の抽出・整理

社会実験の方向性

水無川沿いの全線交通規制による、地域資源を活かしたにぎわい空間の創出

▶ 水無川沿いのみならず夏祭り会場、ちいさな秦野パークでも秦野らしい「水」を感じられる空間は好評であり、エリア全体でにぎわいが創出された。

地元商店会や市民等との連携の強化、地域主体による運営の実施

▶ 既存商店街事業を元に本社会実験を企画したことで、まちづくりの目線で事業を考えるきっかけとなったとともに、継続実施の機運が高まった。

エリア全体でのにぎわいの効果（回遊性向上）等の把握

▶ 半数程度の来訪者が2箇所以上の会場を巡り、クイズスタンプラリーにも多くの参加者を確認できた。

今後に向けた課題

社会実験等の取組みによる
にぎわいの継続

継続実施に向けた仕組みづくり、
行政と地域の連携強化